

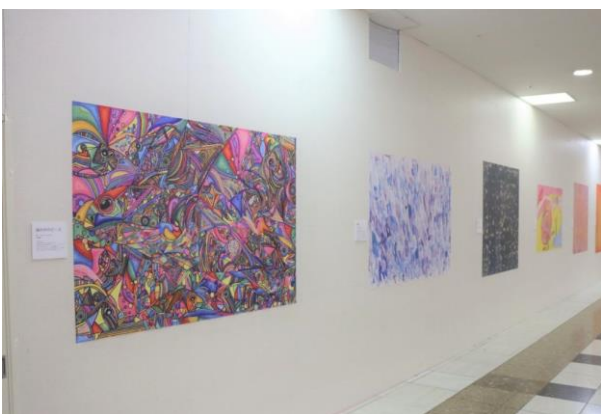
報道関係各位

2021年12月9日  
株式会社サンシャインシティ

## 福祉実験ユニット「ヘラルボニー」の契約作家による異彩の作品を展示

アップサイクルアートミュージアム

### サンシャインシティ内の仮囲いでUPCYCLE ART MUSEUM開催 アートをプリントした展示物をアップサイクル(※)してバッグや小物に



仮囲いを利用した「UPCYCLE ART MUSEUM」

サンシャインシティ(東京・池袋)は、工事に伴い施設内のワールドインポートマートビル1Fへ設置した仮囲いに、株式会社ヘラルボニーがライセンス契約をする日本全国の主に知的障害のある作家のアートをプリントし、仮囲いに展示する「UPCYCLE ART MUSEUM」を12月1日(水)～2022年3月31日(木)の期間で開催しています。

水族館や自然のある公園、空と近い展望台など多くのエンターテインメントとともにある街であり、池袋のランドマークである「サンシャインシティ」を構成する「太陽」、「海」、「自然」、「空」を表したアート作品全13点を仮囲いに展示。本取り組みは「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」に選定された豊島区が、持続発展する都市として「誰もが主役になれる」まちを目指す、「国際アート・カルチャー都市構想」に賛同し実施しております。

また、サンシャインシティ専門店街アルパ3階にあるコミュニティラウンジ「サンシャインシティ ソラリウム」内では、ヘラルボニーが自社で運営するアトライフブランド「HERALBONY」のポップアップショップを期間限定で出店し、ネクタイやハンカチなどのファッションアイテムをはじめ、過去に他の仮囲いで掲出したアートをアップサイクル(※)したバッグや小物を12月16日(木)～26日(日)で販売します。

2022年3月末まで仮囲いに展示する作品も上記同様にアップサイクルしてバッグや小物に姿を変え、同年秋頃にサンシャインシティ内で販売する予定です。

※アップサイクル：用途が終わり、捨てられる廃棄物などに新たな用途を持たせて、新しい価値を持つ製品に生まれ変わらせること

## ■ 概要 ■

### ■ UPCYCLE ART MUSEUM (アップサイクルアートミュージアム)

期 間：12月1日(水)～2022年3月31日(木)

料 金：無料

場 所：サンシャインシティ ワールドインポートマートビル 1F

展示内容：障害のある作家が描いたアート作品13点をターポリンという耐久性の高い素材に印刷し、仮囲いに展示します。作品は、サンシャインシティを構成する「太陽」、「海」、「自然」、「空」を表したものとなります。

また、展示期間終了後に、展示していた作品をバッグや小物にアップサイクルし、2022年秋頃に販売予定です。

### ■ HERALBONY POP-UP STORE (ヘラルボニーポップアップストア)

期 間：12月16日(木)～26日(日)

場 所：サンシャインシティ 専門店街アルパ3階コミュニティラウンジ「サンシャインシティ ソラリウム」内

販売商品：過去に他の場所で掲出していたヘラルボニーのアート作品をアップサイクルしてできたバッグや小物

※ポップアップストアでは商品展示のみを行い、販売はオンラインショップとなります。

#### ■【株式会社ヘラルボニー概要】

「異彩を、放て。」をミッションに、福祉を起点に新たな文化を創ることを目指す福祉実験ユニット。日本全国の主に知的障害のある作家・福祉施設とアトライセンス契約を結び、2,000点以上のアートデータを軸に作品をプロダクト化するアトライフブランド「HERALBONY」、建設現場の仮囲いに作品を転用する「全日本仮囲いアートミュージアム」など、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開。

■ 展示作品の一部紹介 ■



海をテーマにした作品例  
「海の図鑑」中島 敏也



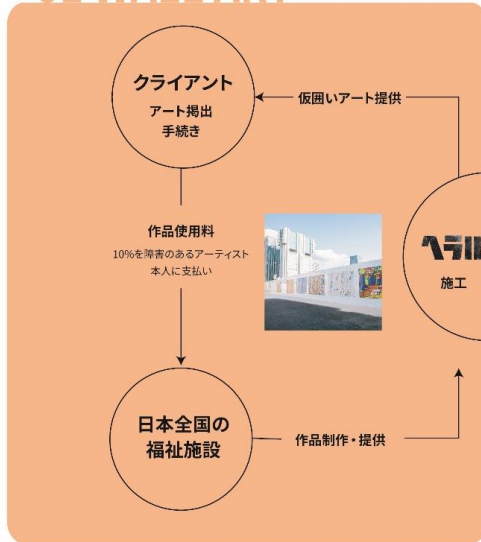
自然をテーマにした作品例  
「はな」土屋 康一



空をテーマにした作品例  
「無題」山崎 菜那

■ 本取り組みについてのご案内 ■

01 WALL ART

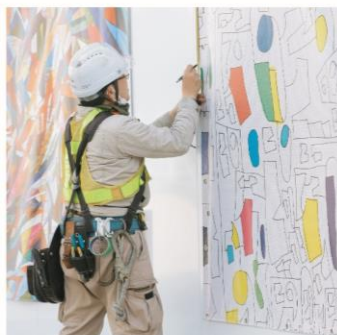


02 UPCYCLING



太陽をテーマにした作品例  
「花火」松本 真由美

※太陽のようなあたたかな  
色彩であることから選出



01 | DRAW

ハラルポニーとライセンス契約を結ぶ、日本全国の個人や福祉施設に在籍する障害のあるアーティストが、アートを描きます。

02 | DISPLAY

アーティストが描いた作品を、横断幕などに使用される耐久性の高い「ターポリン」という生地にプリントし、展示。

03 | UPCYCLE

再利用可能な素材で展示されたアートは一定期間掲出されたあと、洗浄・裁断され、アートプロダクトへとアップサイクル。裁断箇所により一つひとつデザインが変わる、世界に一つだけの特別なアイテムとなって販売。

04 | PRODUCT

アートの展示とプロダクトの販売によって得られた利益の一部をアーティストや福祉施設に還元。資源の再利用と、障害のある方の賃金向上という、環境と福祉、2つの好循環を可能とするプロジェクトです。

報道関係者様からの  
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・鳴海・平田・大浦  
TEL.03-3989-3329 (平日9:30~18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部9部 内山・前山・高橋  
TEL. 03-6260-4861 sunshinicity-pr@kyodo-pr.co.jp